



毎度お世話になっております。株式会社シロクマです。すっかり初夏の陽気となり、原発運転ゼロを背景とした今夏の電力不足問題が連日マスコミをにぎわせています。その中で例年以上に工夫を凝らした暑さ対策商品が花盛り。「風が吹けば桶屋が儲かる」と昔から言いますが、現代の“桶屋”は風が吹く前にいかにアイデアを絞るかがポイントのようです。

今月のホット情報

No.288 アイウッド丸棒取手

引戸用に最適

天然木に近い風合い、環境に優しく高い耐久性



車椅子の人や握力の弱い人でも楽に開閉できる引戸は、快適なバリアフリーの生活空間に欠かせないものです。引戸に最適なドア取手として、ご好評いただいているのが、シロクマの「アイウッド丸棒取手」。

限りなく天然木に近い風合いの「iWood(アイウッド)」という素材を採用しています。松、ヒバの間伐材の木粉と特殊樹脂を混合したもので、ホルムアルデヒドをはじめとするVOCを一切含みません。環境や健康に配慮した素材といえるでしょう。抗菌性があり、カビが付きにくいので清潔で安全。洗剤や薬品による劣化もなく、耐汚染性に優れています。



防腐剤も必要とせず、ささくれの心配もありません。耐候性、耐久性も高い素材です。

アイボリー、ミディアムイエロー、ダークブラウン、ダークオークの4色は、すべて当社オリジナルカラー。

自然な木目がどんな引戸にも調和し、優しい印象を与えます。

各色とも両面用と片面用をご用意しています。Φ32mm。取り付けピッチは425mmと568mmの2サイズ。

セミナーレポート

基本の連続が成長のドライバー、「強さ」をもっと強く



平成23年3月期決算で、既存店売上高8期連続プラスを達成した日本マクドナルド。連結営業利益・経常利益・純利益ともに上場以来最高値を更新しました。「マックからマックへの転進」で話題を呼んだ原田泳幸会長兼社長兼CEOのセミナーから、興味深い経営哲学の一端をまとめてみました。

原田氏がまず強調したのは、「基本、基盤を大切にこそ、投資効果が上がる。基本の連続が成長のドライバーである」ということ。日本マクドナルドのトップ就任初年度は「基本に立ち返る」、2年目は「基本を一番大切に」、そして今も基本を大切にしているとのことでした。「らしさを取り戻す、バック・トゥー・ザ・ベーシック」ということも重視。「らしさ」とは「独自性」を意味するが、「とんでもない独自性を持った商品は売れない。コモディティ(際立った個性のない商品)の中で、さらに独自性の強いものが売れる」と、自社製品を例に挙げて解説しました。(失敗例は薄焼きパンのトルティーヤで包んだマックラップ、成功例はビーフパティ4枚使用のメガマックなど)

また、「どんな会社にも強さがある。弱点が気にならないくらい、その強さをもっと強くするのが経営の課題」と説きました。「リサーチで経営戦略を立てるな。お客の声は過去の経験から語っているもの。自分が信じるものを作れ。それを自己検証するためにリサーチがある。そして、お客の期待と経験を超えるものを作る」とも。「基本に忠実に革新的なやり方でやり続ける。できない理由はチャンス。そこで初めて新しい発想が出てくる。非常識が常識に変わることもある」と話しました。